

# 認定電気工事従事者認定証申請関係書類

認定証交付申請の手続きは、次により申請をして下さい。

## 1. 申請に必要な書類

チェック	第一種電気工事士試験に合格した者	左記以外の者
<input type="checkbox"/>	認定電気工事従事者認定証交付申請書(様式5の2) (手数料として4,700円の収入印紙を貼り、割印は押さないで下さい。)	認定電気工事従事者認定証交付申請書 (手数料として4,700円の収入印紙を貼り、割印は押さないで下さい。)
<input type="checkbox"/>	電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書 (様式1の5)	電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書
<input type="checkbox"/>	第一種電気工事士試験合格証書(写し)	電気工事士免状(写し) 又は 電気主任技術者免状(写し)
<input type="checkbox"/>		実務経歴証明書(3年以上の経験) 又は 認定電気工事従事者認定講習修了証明書(申請用)
<input type="checkbox"/>	住民票1通 (3ヶ月以内に取得したもの)	住民票1通 (3ヶ月以内に取得したもの)
<input type="checkbox"/>	写真2枚(縦4cm×横3cm) (無帽、背景無地、2枚同一、裏面に氏名、生年月日を記入)	写真2枚(縦4cm×横3cm) (無帽、背景無地、2枚同一、裏面に氏名、生年月日を記入)

※チェック欄を活用し、書類の漏れが無いか確認して下さい。

※実務経歴証明書の実務経験は、業務日程や点検記録等のヒアリングや場合によっては帳簿の提出をお願いする場合がございます。(実務経験での申請は手続き等かなりお時間がかかります。)

※各書類は様式をもとにワープロ等で作成していただいても結構です。

## 2. 申請書等の記入上の注意事項

- (1) 交付申請書の収入印紙(4,700円)は過不足なく貼って下さい。なお、割印は押さないで下さい。
- (2) 申請書の住所、氏名、生年月日は住民票に記載されているとおりに記入して下さい。
- (3) 資格取得年月日あるいは合格年月日は、免状に記載されている年月日を記入して下さい。
- (4) 書類一式を郵送する場合は、「書留又は簡易書留」により送付し、封筒の表には「認定電気工事従事者認定証交付申請書在中」と明記して下さい。

### 【申請先】

〒760-8512

香川県高松市サンポート3番33号

高松サンポート合同庁舎5階

中国四国産業保安監督部四国支部 電力安全課 行

《ホームページ》

<http://www.safety-shikoku.meti.go.jp/>

様式5の2 (第9条の2関係)

認定電気工事従事者認定証交付申請書		収入印紙 4,700円 (消印をしないこと)
		年 月 日
中国四国産業保安監督部長 殿		
(〒 - )		
申請者 住 所 _____		
(フリガナ)		
氏 名 _____ 印		
生年月日 _____ 年 月 日生		
電気工事士法第4条の2第1項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。		
◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した</li> <li>2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した</li> <li>3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した</li> <li>4. 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した</li> <li>5. 第一種電気工事士試験に合格した</li> <li>6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した</li> <li>7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した</li> <li>8. 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された</li> </ol>	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

(備考)

1. この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2. ◎印欄、該当する事項を○で囲み、これを証明する書類を添付すること。
3. ※印欄には、記入しないこと。
4. この申請書には、住民票及び写真(この申請書提出前6月以内に撮影した縦4cm、横3cmのもので、裏面に氏名及び生年月日を記入すること。)2枚を添付すること。

様式1の5 (第5条の2関係)

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書		年 月 日	
中国四国産業保安監督部長 殿			
(〒 - )			
申請者 住所 _____ (フリガナ)			
氏 名 _____ 印			
生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生			
電気工事士法第4条の2第4項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。			
申請に係る認定証の種類	認定電気工事従事者認定証		
◎ 電 気 工 事 に 関 する 資 格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類 資格取得年月日 年 月 日	
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類 資格取得年月日 年 月 日	
	修了した講習	講習の種類	
		修了年月日	年 月 日
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事 ・ 非常用予備発電装置に関する工事 年	
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数	年	
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年	
	※ 受 付 欄		※ 経 過 欄

(備考)

1. この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2. ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
3. ※印欄には、記入しないこと。
4. 特種電気工事資格者の認定申請書の場合には、申請に係る認定証の種類欄に特殊電気工事の種類も併せて記載すること。
5. 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

# 実務経験証明書

ふりがな		生年 月日	年 月 日
氏名			
現住所	〒		(TEL )
現在の勤務先の 名称及び 所在地	名称		(TEL )
	所在地		
実務経験の期間及び内容			
所属部署及び 役職名	期 間	職 務 の 内 容	
通算期間			
<p>上記のとおり、実務経験を有することを証明します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">所在地 法人名 代表者氏名 電気工事業者(登録・届出)番号</p>			

記載例①-1 (第一種電気工事士試験に合格し、取得する場合)

様式5の2 (第9条の2関係)

認定電気工事従事者認定証交付申請書		収入印紙 4,700円 (消印をしないこと)
中国四国産業保安監督部長 殿		××年××月××日
(〒×××-××××)		
申請者 住所 <u>〇〇県〇〇市〇〇×丁目×番×号</u>		
(フリガナ) <u>ホソ タロウ</u>		
氏 名 <u>保安 太郎</u> 印		
生年月日 <u>××年××月××日</u> 生		
電気工事士法第4条の2第1項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。		
◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した</li> <li>2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した</li> <li>3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した</li> <li>4. 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した</li> <li style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">5. 第一種電気工事士試験に合格した</li> <li>6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した</li> <li>7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した</li> <li>8. 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された</li> </ol>	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

記載例①-2 (第一種電気工事士試験に合格し、取得する場合)

様式1の5 (第5条の2関係)

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書

××年××月××日

中国四国産業保安監督部長 殿

(〒×××-××××)

申請者 住所 ○○県○○市○○×丁目×番×号  
 (フリガナ) ホン タロ  
 氏名 保安 太郎 印

生年月日 ××年××月××日 生

電気工事士法第4条の2第4項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		認定電気工事従事者認定証	
◎ 電気工事に関する資格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類	第一種電気工事士試験
		資格取得年月日	××年××月××日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	
		資格取得年月日	
	修了した講習	講習の種類	
		修了年月日	
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事 ・ 非常用予備発電装置に関する工事	
		年	
		年	
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数	年	
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

記載例②-1 (第二種電気工事士免状(電気工事士免状を含む)若しくは、電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)を取得後、認定講習を終了して取得する場合)

様式5の2 (第9条の2関係)

認定電気工事従事者認定証交付申請書		収入印紙 4,700円 (消印をしないこと)
中国四国産業保安監督部長 殿		××年××月××日
(〒×××-××××)		
申請者 住所 <u>〇〇県〇〇市〇〇×丁目×番×号</u>		
(フリガナ) ホソ タロウ		
氏 名 <u>保安 太郎</u> 印		
生年月日 <u>××年××月××日</u> 生		
電気工事士法第4条の2第1項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。		
◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格  ※ <u>第二種電気工事士免状(電気工事士免状を含む)の場合</u> は、6へ〇印 ※ <u>電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)の場合</u> は、7へ〇印	1. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した  2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した  3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した  4. 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した  5. 第一種電気工事士試験に合格した 6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した 7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した  8. 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

記載例②-2 (第二種電気工事士免状(電気工事士免状を含む)若しくは、電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)を取得後、認定講習を終了して取得する場合)

様式1の5 (第5条の2関係)

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書		××年××月××日	
中国四国産業保安監督部長 殿			
(〒×××-××××)			
申請者 住 所 <u>〇〇県〇〇市〇〇×丁目×番×号</u>			
(フリガナ) <u>ホソ タロウ</u>			
氏 名 <u>保安 太郎</u> 印			
生年月日 <u>××年××月××日</u> 生			
電気工事士法第4条の2第4項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。			
申請に係る認定証の種類	認定電気工事従事者認定証		
◎ 電気工事に関する資格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類 資格取得年月日	
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類 資格取得年月日	
		第二種電気工事士免状(注) ××年××月××日	
	修了した講習	講習の種類 修了年月日	
		認定電気工事従事者認定講習 ××年××月××日	
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事 ・ 非常用予備発電装置に関する工事 年	
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数	年	
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年	
	※ 受 付 欄		※ 経 過 欄

(注) 電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)の場合は、「第〇種電気主任技術者免状」と記載すること。



記載例③-1 (第二種電気工事士免状(電気工事士免状を含む)若しくは、電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)を取得後、3年以上の実務経験で取得する場合)

様式5の2 (第9条の2関係)

認定電気工事従事者認定証交付申請書		収入印紙 4,700円 (消印をしないこと)
		××年××月××日
中国四国産業保安監督部長 殿		
(〒×××-××××)		
申請者 住 所 <u>〇〇県〇〇市〇〇×丁目×番×号</u>		
(フリガナ) ホソ タロウ		
氏 名 <u>保安 太郎</u> 印		
生年月日 <u>××年××月××日</u> 生		
電気工事士法第4条の2第1項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。		
◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格  ※ <u>第二種電気工事士免状(電気工事士免状を含む)の場合</u> は、6へ〇印 ※ <u>電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)の場合</u> は、7へ〇印	1. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した  2. 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した  3. 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した  4. 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した  5. 第一種電気工事士試験に合格した 6. 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した 7. 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した  8. 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	

記載例③-2 (第二種電気工事士免状(電気工事士免状を含む)若しくは、電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)を取得後、3年以上の実務経験で取得する場合)

様式1の5 (第5条の2関係)

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書		××年××月××日
中国四国産業保安監督部長 殿		
(〒×××-××××)		
申請者 住所 <u>〇〇県〇〇市〇〇×丁目×番×号</u>		
(フリガナ) <u>ホソ タロウ</u>		
氏 名 <u>保安 太郎</u> 印		
生年月日 <u>××年××月××日</u> 生		
電気工事士法第4条の2第4項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。		
申請に係る認定証の種類	認定電気工事従事者認定証	
◎ 電気工事に関する資格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類 資格取得年月日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類 資格取得年月日
	修了した講習	講習の種類 修了年月日
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事 ・ 非常用予備発電装置に関する工事  年
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数	〇、〇年 (第二種電気工事士免状(電気工事士免状を含む)の場合に記載し、下欄には記載しない。)
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	〇、〇年 (電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)の場合に記載し、上欄には記載しない。)
	※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

(注) 電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)の場合は、「第〇種電気主任技術者免状」と記載すること。

記載例③-3 (第二種電気工事士免状(電気工事士免状を含む)若しくは、電気主任技術者免状(電気事業主任技術者免状を含む)を取得後、3年以上の実務経験で取得する場合)

実務経験証明書

ふりがな	けい ざい た ろう	生年	〇〇年〇〇月〇〇日																								
氏名	経 済 太 郎	月日																									
現住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市××4-5-6-101 (TEL )																										
現在の勤務先の名称及び所在地	名称	〇〇電気工事株式会社 (TEL )																									
	所在地	〒000-0000 〇〇県〇〇市××1-2-3																									
実務経験の期間及び内容																											
所属部署及び役職名	期 間	職 務 の 内 容																									
電気工事課係員	〇年〇月 ～ 〇月〇月	<p>(〇年〇月 第二種電気工事士免状取得)</p> <p>左記の期間中に、一般用電気工作物及び自家用電気工作物に係る電気工事に作業員として従事(ただし、自家用電気工作物で最</p> <p>大電力500kw未満の需要設備については、電気工事士法施行規則第2条に定める軽微な作業に限る)した。</p> <p>主な工事内容は、屋内配線工事、照明器具の取付、……の電気工事。</p> <table border="0"> <tr> <td>(代表例)</td> <td>(最大電力)</td> <td>(従事期間)</td> </tr> <tr> <td>〇〇マンション新築屋内配線工事</td> <td></td> <td>〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月</td> </tr> <tr> <td>〇〇ビル低圧配線改修工事</td> <td></td> <td>〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月</td> </tr> <tr> <td>〇〇病院改築電気工事</td> <td>(300 kW)</td> <td>〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月</td> </tr> <tr> <td colspan="3">平成〇〇年度 その他一般用100件、自家用10件</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇〇アパート改築電気工事</td> <td></td> <td>〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月</td> </tr> <tr> <td>〇〇工場内電気配線工事</td> <td>(930 kW)</td> <td>〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月</td> </tr> <tr> <td colspan="3">平成〇〇年度 その他一般用120件、自家用5件</td> </tr> </table>		(代表例)	(最大電力)	(従事期間)	〇〇マンション新築屋内配線工事		〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月	〇〇ビル低圧配線改修工事		〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月	〇〇病院改築電気工事	(300 kW)	〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月	平成〇〇年度 その他一般用100件、自家用10件			〇〇〇〇アパート改築電気工事		〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月	〇〇工場内電気配線工事	(930 kW)	〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月	平成〇〇年度 その他一般用120件、自家用5件		
(代表例)	(最大電力)	(従事期間)																									
〇〇マンション新築屋内配線工事		〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月																									
〇〇ビル低圧配線改修工事		〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月																									
〇〇病院改築電気工事	(300 kW)	〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月																									
平成〇〇年度 その他一般用100件、自家用10件																											
〇〇〇〇アパート改築電気工事		〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月																									
〇〇工場内電気配線工事	(930 kW)	〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月																									
平成〇〇年度 その他一般用120件、自家用5件																											
通算期間	〇年〇月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     ※従事期間の合計が3年以上となるように、詳しく書いてください。                 </div>																									
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。  〇〇年〇〇月〇〇日  所在地 法人名 代表者氏名 電気工事業者(登録・届出)番号																											